

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月15日

事業所名 HappySmile

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4		1	生活介護と一緒に活動に取り組 んだり、時間をずらしてスペース を活用するなど工夫を行って います。	
	2 職員の配置数は適切である	3	2			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	4	1			浴槽やトイレなどに手すりを設置していますが、 室内での歩行訓練に使用できる手すりを検討し ていきます。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	4	1			毎月ミーティングの時間を設けていますかよ りよいミーティングの環境を整え、職員間 での情報共有がスムーズになるよう努めて行 きます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4	1			今後もアンケート結果を元に業務改善につ なげていけるよう努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5			結果をホームページで 公開し職員、保護者へ 周知していただいていま す。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	2			第三者による評価を実施する方法を検討し ていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	5			毎月研修を実施し職員のスキ ルアップにつなげていけるよ う工夫しています。	
適切 な支 援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5			サービス等利用計画 と連動できる個別支 援計画を作成してい ます。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	4	1			標準化されたアセスメントツールを検討して いきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行って いる	5			年度の初めで活動 計画を立案してい ます。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	2	3			コロナ禍で活動が難しい場面もあるが、その中 でも取り組める活動の種類を増やせるよう検討し ていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	2	1		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	5			専門職(音楽療法士) を配置し個別又は集 団活動を組み立てて います。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4		1	毎日サービス開始 前には業務日誌を 確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	2	1	支援終了後には支援 の振り返りや保護者 からの情報伝達を 行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			記録記入の時間を設 け正しく記録をつける よう心がけています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5			利用者に合わせモニ タリング回数を変更し 計画の見直しを行っ ています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	4	1		ガイドラインの読み合 わせを行いそれに沿 った活動を行っています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5			優先して会議には 児発管が参加して います。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5			月初めには保護者 から学校行事など 予定の確認を行い 情報共有に努めて います。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている				現在医ケア対象の利用 者はいませんが、看護 師を配置し主治医との 連絡体制を整えていま す。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている					利用者の対象年齢が高校生の為連携はし ていません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	5			卒業する際には学校 や卒業先の事業所と 移行会議を設け情報 共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	4			現在は助言等は受けていませんが今後は 専門機関と連携が図れるよう検討してい きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		今年度も交流する機会はなかったが今後は 検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	2		法人代表者が委員 として参加して います。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5			が経過の際は口 ごろの様子を伝え課 題などを共通理解で きるよう努めていま す。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	1	1		今年度は保護者参加型の研修を計画しま したが今後も継続していけるよう努めてい ます。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5			契約時に運営規定 や利用者負担等の 説明を行っていま す。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4	1			保護者からの相談等は職員間で情報共有・ 必要な助言を検討し回答できるよう努めて います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	4		今後は保護者が集まれる機会を提供でき るよう努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5			苦情受付担当を 設置し迅速に対 応できるよう努め ています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5			「Happyだより」を 発行し活動の様子等 を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	5			利用者の利益保護の 為情報管理を徹底し ています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5			利用者に合わせ絵カ ードや文字で表現する など工夫しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2		現在はコロナ禍の為招致することが難しい状 況ではあるが今後は機会が作れるよう検討し ていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			各種マニュアルの策定はしているが継続して周知できるよう努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に2回避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			法人で虐待防止の研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者からの情報をもとに看護師が主となり対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハットを記載後は職員間で情報共有を行っています。	